

2013年（平成25年）度第1回常務理事会記録（案）

日 時：2013年（平成25年）2月9日（土） 11:00～13:25

場 所：八重洲ダイビル 第2会議室

出席者：高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、竹田 扇、寺田純雄、仲嶋一範（以上常任幹事）、天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2012年（平成24年）度第6回常務理事会（平成24年12月15日開催） 記録（案）

2012年（平成24年）度第5回理事会（平成24年12月15日開催） 記録（案）

2012年（平成24年）度第6回理事会（平成24年12月20～27日開催） 議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成24年12月分（入会者 なし、退会者 正会員 25名、学生5名、学術評議員2名、名誉会員1名、永年会員1名、団体会員3名）

平成25年1月分（入会者 正会員44名、学生45名、退会者 正会員 5名、名誉会員1名）

合志徳久氏（鹿屋体育大学名誉教授/永年会員） 平成24年8月26日逝去（享年75歳）

村上宅郎氏（岡山大学名誉教授/永年会員） 平成24年12月7日（享年73歳）

池田次郎氏（京都大学名誉教授/名誉会員） 平成24年12月19日逝去（享年90歳）

追悼記事に関しては、村上氏は大塚愛二氏（岡山大）に依頼済み。池田氏に関しては塩田浩平氏（京大）に、合志氏に関しては鹿屋体育大に夫々問い合わせることとした。

(2) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：国会図書館より「オンライン制度収集説明会のご案内」他21件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：日本医学会より「JMAJ. Vol.55 No.4」他11件あり。

(3) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

2年以上の未納者を学術総会で掲示して、納入がなければ3年未納者は退会処分とする。4年未納の学術評議員の取扱に関して意見交換があり、今回は最終警告書を送付し、反応がなければ退会処分とする手続きをとることとした。賛助会員には事情を訊いてみるることとする。また、未納者リストを各支部長に送り支部長から直接注意を喚起することとなった。

(4) 各種委員会報告について

全て揃ったことを確認し、公益法人WGは今回で解散となることが確認された。将来計画WGも最終答申を出しこれを解散し、現在の教育委員会に組み入れて教育・若手育成委員会とすることとした。

(5) 平成25年度定時社員総会の案内と書面表決状について

本年の送付数は379通で、例年高い回収率であることが確認された。

(6) 平成25年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づいて説明があり、本年度は次の方針で進めることとした。①予めHP上で告知を行い総会当日は要点だけ説明して採決すること。②決算に関しては書式が変更となる為、今回に限り平成16年度の書式と平成20年度の書式の併記を行うこと。③各種委員会報告は原則として書面報告とし、特に説明が必要な委員会に関しては執行部から個別に事前指名しておくこと。物故会員の掲載（萬年甫氏）、HPへの掲載時期、葉書の送付時期に関して確認があった。

(7) 一般社団法人への移行について

事務局長（大川仁氏）への礼状送付、総会后に新法人への財産引き継ぎを行うこと、が確認された。

(8) サージカルトレーニングについて

本年6月発行予定の解剖学雑誌に掲載する予定稿が紹介された。理事会承認後に外科学会や文科省等に解剖学会原案として提示することになった。

(9) その他

特になし。

2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づいて説明があり解剖学雑誌は1,2号が合併して総会プログラムと同梱で送付予定であることが報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成24年度日本解剖学会奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

資料に基づいて説明があり、申請時の提出書類の厳格化に関して、今後の重要検討課題として意見交換

が行われた。この中で、奨励賞は個人に対して授与されるものであることが確認された。他の問題点に関しては今後継続審議とすることが決定された。また、選考委員会の出席率を高くすることが課題として確認された。更に若手対象の賞の新設についても継続審議とすることとした。

(2) 2013(平成25)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づいて報告があり、①各種委員会の担当常務理事は新執行部が決めること、②総会に引き続いて奨励賞受賞講演を行う様に会頭に変更を依頼すること、を確認した。

(3) 第29回日本医学会総会報告
資料に基づいて説明があった。またこれに先行して河田理事の担当で関西において解剖学会総会を開催することが説明された。生理学会との合同開催（岡村康司・阪大教授）を行う方向で調整中であること、会場は神戸が有力であることが報告された。

(4) その他
特になし。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

(1) 平成24年度支部学術集会収支報告について
資料に基づいて説明があった。

(2) 平成24年度決算書概要(案)について
資料に基づいて執行率が予算と比して30%以上ずれているものに関して説明があった。また24年度は総会余剰金の返納金があり黒字であったことが報告された。名簿積立金に関して説明があり、2014年度に新名簿を発行する方針であることが確認された。

(3) その他
特になし

III. 審議事項

1. 平成25年度予算(案)について

牛木理事より資料に基づいて報告があり、繰越収支差額を入れたものが提示され承認された。今回の総会の際には資料13-1に基づいて説明することが確認されたが、資料13-2も配布資料には加えることとした。

2. 申請による代議員（旧・学術評議員）審査について

岡部理事より資料に基づいて説明があり、資格審査を行った結果上条氏は在籍10年を満たしていないので投票対象外とすることを承認した。会費未納者は未納分を納めることで有資格となることが確認された。

3. 永年会員の推薦について

岡部理事より資料に基づいて報告があり、承認された。

4. 一般社団法人化における各種規約改正について

岡部理事より資料に基づいて説明があり、会員からの意見を募ったことが報告された。この中でWGに関する規定を追記したこと、理事、監事選出に関する規定として第4条(6)に同一職という文言を追加したことが報告され承認された。

5. 定款改正について

岡部理事より資料に基づいて報告があり、幾つかの文言の修正があったこと、事務局の登記住所に変更があったことが確認され、承認された。

6. 所在地変更について

岡部理事より資料に基づいて報告があり、学会事務センターに所蔵してある物品の整理に関して提案があり、承認された。

7. 会計マニュアル・全国学術集会運営マニュアルについて

牛木理事より資料に基づいて説明があり、続いて中村氏よりトラベルアワードの規定を具体化した旨の補足説明があった。この中で、トラベルアワードという名称を堅持すること、表彰は会頭授与となること、が再度確認された。更にトラベルアワードは「若手の参加を支援する」という趣旨を明記した上で、その位置づけを明確にする必要があることが確認された。また、通常の全国学術集会ではポスター発表の際に英語タイトルを併記する必要がないことを確認した。また学術奨励賞講演に関して「総会の直後、など人が集まりやすい時間帯を設定すること」を追記することが提案され、承認された。

8. 日本学術会議による第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランについて

岡部理事より資料に基づいて説明があり、顕微鏡学会などと組んで他学会との連携も検討しつつ具体案を提出すること、立案は2月15日に開示される様式に従って現常務理事4名が行うこと、が承認された。またその試案を総会に諮ることが確認された。

9. 次期理事会への申し送り事項について

高田理事長より資料に基づいて説明があり、申し送り事項が承認された。

10. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

高田理事長より資料に基づいて報告があり、承認された。

11. その他

新旧合同理事会の式次第に関して確認があり、承認された。